



〈サロン・あべの〉1月の出会い
 新年、あけましておめでとうござい
 ます。

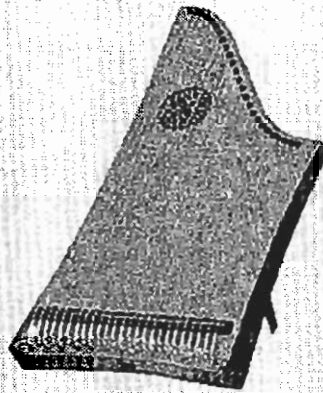
（サロン・あべの）は優
 雅なヘルマンハープの調
 べで、のどかな2009
 年の新春を迎えました。



ヘルマンハープは新聞
 やテレビなどでたびたび
 紹介され、注目度の高い
 楽器です。年齢、障害の有
 無にかかわらず楽しむこ
 とができる楽器として、
 ヘルマンハープの響きが
 阪神間を中心に静かに広
 がっています。とはいっても、知
 名度はまだまだです。今日（サロ
 ン・あべの）1月の出会いにお集
 まりのみなさんの中で、この楽

器を見たことがある、演奏を聞
 いたことがあるという方はほん
 の一部、ほとんどの方は初めて
 だと思います。

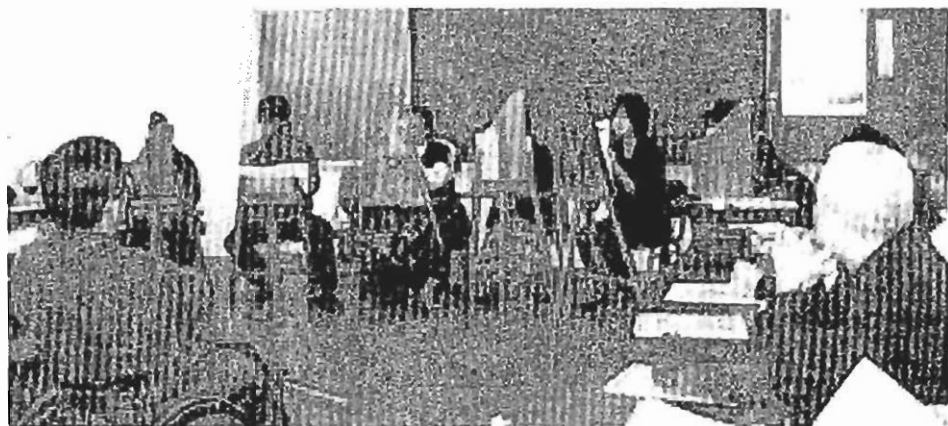
ヘルマンハープの 調べで迎える 2009



ヘルマンハープとは、198

7年にドイツ・バイエルンの農場
 主であるヘルマン・フエーさん
 が、ダウン症をかかえて生まれて
 きた第4子のアンドレアスさんに
 楽器を奏でることを通じて生き
 る喜びを味わってもらいたいと
 の一念から、手づくりした弦楽器
 です。ハープといっても大きさは
 M寸と呼ばれる64×34×6セン
 チかL寸の79×48×8センチで、
 重さは2ー3.5キロと一抱えにで
 きるほどの手ごろさです。この
 ハープのために専用の楽譜が開
 発されていて、初めて楽器を弾く
 人も手軽に曲を演奏することが
 できるのです。

手軽に演奏できることから、ド
 イツ、スイス、オーストリアなど
 ヨーロッパ各地で、口コミによつ
 て障害を抱えた人たちに受け入れ
 られたばかりでなく、音楽を初め
 て奏でるような人をはじめ、老若
 男女の区別なく、健常者にも広



6人のハーピストの演奏に魅せられ、癒された〈サロン・あべの〉1月の出会い
(写真提供=障害者福祉作業所「たけのこ」西本節子さん)

まっつていきました。

ヘルマンハーブを日本に持ち込んだのは、現在、日本ヘルマン

ハーブ協会(西宮市)の理事長を務める梶原千里さん。ハーブの存在を知ったのは2003年3月、

旅先で訪れた、ニュージーランドで訪れた、ニュージーランド

□ ■ □

ンハーブの演奏をバックに参加27名のみなさんで「荒城の月」を大合唱、大いに盛り上がりました。

□ ■ □

そして休憩をはさんで小1時間、ハーピストから懇切丁寧な手ほどきを受けました。その甲斐あって、楽器に触ったことがない人、まったく楽譜の読めない人、音楽にそれなりに興味のある人、音楽にそれなりにわかハーピ

ら下へ順に左右どの指でもいい、一本の指で弾き上げればメロディーを奏でられる仕組みになつていのです。上から順番にオルゴールのあの穴があいている場所が譜面になつていような感じ。なので、脳梗塞など、高次脳機能障害で麻痺があつたとしても、認知症、アルツハイマーなど、障害がある場合でも演奏が可能なのです。

□ ■ □

間を中心にした由布康二さん、楠本光世さん、西本節子さん、橋本みはるさん、小橋勇次郎さん、中川宗幸さんから6名のハーピストが奏でる「千の風になつて」「日本むかしばなし」「賛美歌・星の世界」かあさんの歌」「荒城の月」に、参加のみなさんははしうつとり。

アンコールではヘルマンハーブの演奏をバックに参加27名のみなさんで「荒城の月」を大合唱、大いに盛り上がりました。

秘密は、楽譜にもありません。

チェンバロのような繊細な音色と、空に鳴り渡る鐘のような豊かな響きのヘルマンハーブの演奏に魅せられ、癒された(サロン・あべの)1月の出会いでした。(石)

「賛美歌・星の世界」かあさんの歌」「荒城の月」に、参加のみなさんははしうつとり。

アンコールではヘルマン

だ専用の楽譜の音符の玉を上か

は、「市民フォーラムおおさか」の協働事業として参加しています。

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第271号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第271号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー 残像～ (加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ
ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

サロンの
絵はがき

5枚1組180円

え：石田美禰子



花のかおりを、はがきにのせて



53



邦子、 ・ん歳の手習い。

デニスさんの自立へのチャレンジ①

私の夫は、1989年にパークレーの自立障害者にインタビューをしました。その記録の中から、視覚障害者のデニスさん(当時38歳)のお話を紹介します。

デニスさんは、1979年にパークレー大学の大学院に入り自然科学を専攻しました。専門は生物の分野に1番近い、配合や混合などの掛け合わせ、例えば、ライ麦とか大麦を掛け合わせるといようなものらしいです。しかし、昔からの生物学からの方法だけではなく、物理学やエンジニアリングの方法技術

もたくさん使う分野だということです。実質的には、癌や心臓病の医療関係にも役立つ学問らしいです。当時、デニスさんは大学院に入って10年目で、博士号をとるための研究をしていました。彼は「私の研究プロジェクトは引力の植物に対する研究をしています。生物学の分野で引力の関係を研究している人たちは少数派です。医療とも関係している分野ですが、現実的に役立つというのではない基礎研究で、その中で私のやっていることは、小さな分野のとても小さいことです」と語っていました。

した。また、彼のような視覚障害者で自然科学をやっている人は少ないのでチャレンジになるのではないかという思いもあり、自然科学を勉強する決心をしたそうです。

では、なぜデニスさんは視覚障害者にとって不利な研究を選んだのでしょうか。それは彼と自立生活運動との出会いも関係しているようです。デニスさんは1968年にパークレー大学に入学し、歴史を勉強しました。卒業後、大学の障害者学生プログラムで7年間働きました。その間の彼の仕事は障害者学生のカウンセリングや障害者学生のための補助金をもらうために申請する書類を書いたりする仕事でした。その頃、彼の読んだ科学の本が面白かったので、今まで自分の知らなかった分野でも修得できるのではないかと思いま

彼のチャレンジへのこだわりは、自立生活運動との出会いにさかのぼります。彼が学部に入學した頃、大学では障害者自立生活運動が始まり、1969年には、障害者学生を支援する障害者学生プログラムができました。彼はその設立メンバーでした。その頃の様子について、彼は「その時は市民運動の高まりがあり、パークレーの街や大学の中でも自由を求め、自立を求める気運がありました。自分のできることや自分の限界に挑戦しようというような雰囲気がありました」と語っています。私の中にもありました」と語っています。しかし、「物理学や化学の分野は白人男性の世界で、女性も黒人も他民族の人もない。まして、障害者もない」ということを彼が感じた時、「自分がそういうマイノリティ全部を代表するような形で、障害者もマイノリティも自分たちが今までできなかった分野に」とチャレンジしなければならぬのではないか」と思ったそうです。

彼は、「大学院に入ること自体は大変ではありませんでしたが、入ってからでは想像もできないほど大変でした」と語っています。なぜならば、盲人への差別がものすごくあり、「目の見えない人は実際の観察なんかできないから、ろくな仕事はできないよね」という雰囲気があるのをひしひしと感じたということでした。そのような中で、視覚障害者にとって、未知の世界である自然科学の研究への彼のチャレンジが始まりました。大学は、決して彼の将来は保障していませんが、まずはチャレンジのための機会を与えてくれたといえます。

(定藤邦子)

ありがとうございました。

カンパ、切手・CD・お茶・お茶菓子・バザー用品の寄贈、また、サロングッズの買い上げなどありがとうございました。

カスターネット、神谷君栄、黒羽玲子、小西京子、澤田妙子、谷山孝子、中川宗幸、西本節子、橋本みはる、長谷川孝子、堀田雅子、町野旬子、松本妙子、藪シズ、山本鈴子、その他の方々。(敬称略)

晴れのち晴れ-125-

稲垣恵雄

□四生(しせい)

この地球上におよそ66億の人間と無数の生物が共存共栄している。同じ生物でもそれぞれの縁によって生まれてくる形が異なるのである。大きく分けて次の4つの形の生まれ方(四生)があるとされている。

- ① 胎生(母体と同じ形で生まれる方法で人間や牛や馬などの動物を指す)
- ② 卵生(卵が体外へ産み出されて発育することでにわとりや小鳥などを指す)
- ③ 化生(昆虫が自然状態で1年に何度かくり返すことでトンボや蜘蛛を指す)
- ④ 湿生(湿地やじめじめした日当たりの良くない場所で生まれることでノミやシラミやダニなどを指す)

仏教をお説きになったお釈迦様がある日、弟子の1人とガンジス川のほとりを散策し

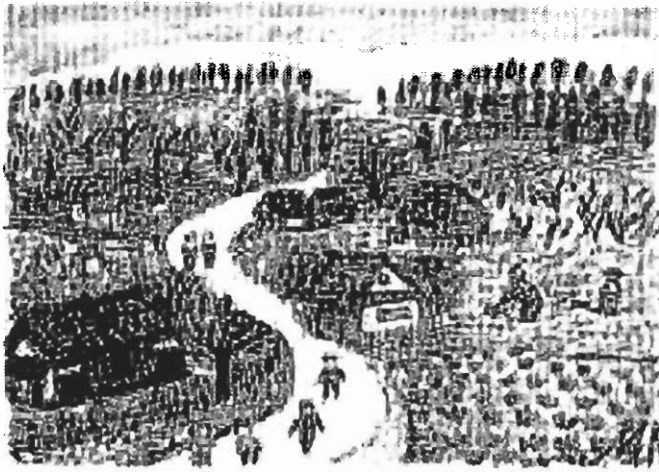
ておられた。その時弟子が突然立ち止まってお釈迦さまに「この世に生物が数え切れないほど生息していますが、人間に生まれる確率はどれくらいでしょうか」と質問された。するとお釈迦様は川岸の砂を一握り拾われ「これだけの砂がこの世に棲む生物だよ」と示された。そして砂を捨てられ、手の平に残ったわずかの砂を指して「これだけが人間なんだよ」と教えられたそうだ。

これはお釈迦様が人間として生まれる確率がいかに少ないかを我々に教えてくださっているのである。それだけに人間として生まれたことを大いに歓び、生命を大切に生きていかなければならないと思う。



当事者福祉論 (下)

当事者福祉論のシリーズ三回目。いつまでたっても本論に入らない様子に苛立ちを感じておられる読者も、どこかに一人ぐらいはいらつしやるかもしれない。そこで今



回こそは、当事者福祉論とは何かを書かなければいけない。

当事者福祉論とは、当事者がどのようにして福祉を創り上げていくかを考え、その支援を研究する学問であると定義しておく。その課題は三つぐらいにしばられるだろう。

ひとつは、当事者が問題提起をしているが、既存のどの分野にも入らなかった新しい福祉をここに含めるのである。当事者福祉は、当事者が提起する福祉である。

たとえば、家族が自ら命を絶つたために、たいへんな苦しみのなかにある遺族の福祉がある。この人たちのことは、おそらく既存のどの分野の福祉も考えてこなかった。また戸籍上は男でも、自分は女として生まれたと感じている人たちがいる。この人たちの福祉も、いまの日本の社会福祉学の教科書にはほとんど取り上げられていない。

このような人たちの福祉は、社会福祉の専門家が最初に注目したのではなく、当事者が自ら声をあげて、そして福祉の問題が提起された。当事者発の福祉という意味で、当事者福祉なのである。

もう一つは、既存の福祉分野にも、当事者福祉の新たな視線を投げかけることができる。たとえば障害者福祉である。障害によつて社会的に不利な立場に置かれている障害者に対して障害者福祉がある。差別や偏見がある以上、これは必要な福祉だ。

しかし、逆に障害によつて社会的に有利な立場にある障害者に対する支援を、従来の障害者福祉は考えてこなかったと思う。「障害によつて社会的に有利な立場にある」とは、障害があるからこそ見えてくる可能性や潜在力を利用できることを言う。

たとえば障害者団体が地域の障害者にサービスを提供することは、すでに全国で行われている。その団体にとつて障害者がメンバーであるということは、サービス提供をする上で強みになる。つまり、こうした当事者であることの強みが十分に活かさ

お知らせ

<サロン・あべの>3月の出会い

内容…両母(姑・母)看取り、おわりよければすべてよし

-人が逝く道のは百人百通り-

お客さま…横尾禮子さん

阿倍野区介護家族の会「えがおの会」

日時…3月21日(土)午後1時~4時

場所…育徳コミュニティーセンター2階
研修室(スロープ・車いすトイレ有)

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL 06-6621-1901

最寄り駅=

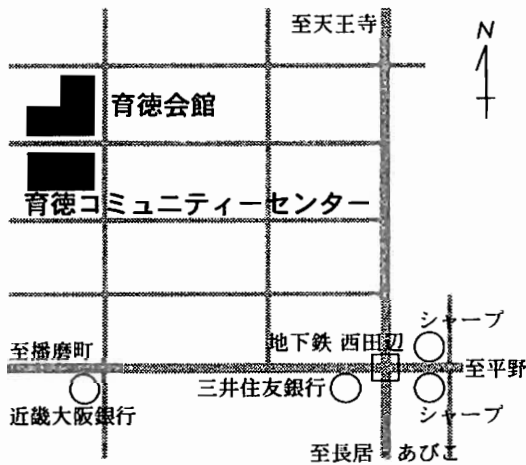
地下鉄御堂筋線「西田辺」(エレベーター有)下車すぐ

会費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

<サロン・あべの>3月の出会いは、「市民フォーラムおおさか」の協働事業として参加しています。



れるように支援することを考えることが、当事者福祉論の第二の課題である。そして第三の課題は、地域社会の弱体化と通信技術の発達と関係がある。福祉を目的とした市民の団結の基盤として従来は地域社会が考えられてきた。しかし、地域社会は弱体化する一方であり、その力の復元には限界があるように見える。

一方でインターネット等の通信手段の劇

的な発展によって、人は遠く離れた同じ思いの人と出会い、交流することが以前に比べてずっと簡単にできるようになった。二、三十年前には考えられなかったようなコミュニティが無数にできつつある。当事者団体は、弱体化していく地域社会に代わる、あるいは補完する福祉的なコミュニティになるだろう。当事者福祉論はそんな当事者団体を支援する福祉論なのである。

以上、まとめると当事者福祉論とは、当事者から提起された福祉の課題を取り上げ、当事者が当事者のもつ強みを活用したかたちで社会に働きかけることを支援し、福祉のコミュニティとしての当事者団体に注目する福祉論なのである。これを新しい福祉として著者は打ち出したいと考えている。いたって本気なのである。

(知)

Mai スウェーデン 留学記 28

税金は高くても・・・

遅ればせながら明けましておめでとうござ
います。学業のため先月は勝手ながらお休
みをとらせていただき、申し訳ありません
でした。さて、スウェーデン留学の1つの目的には、
障害のある女の子に会うことありまし
た。留学する1年ほど前からメールのやり取りを、
その女の子のお父さんと始め、私がスウェ
ーデンに行くとき、「ぜひ会おう」と言っ
てくれたのです。当時14歳の女の子は、全介助で、言
葉は喋れません。でも彼女の素敵なブルーの
瞳は、人の心を読めるような、とても鋭い視

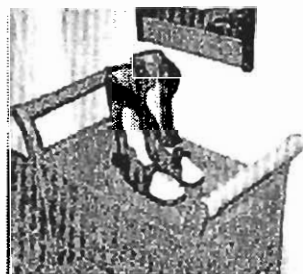
線を投げかけています。普段は、家でお父
さんが介助をしています。

とても天気の良い日、最寄りの駅・ウプサ
ラに到着していた私を待っていてくれたのは、
ずっと連絡を取り合っていたお父さん。ヴェ
クショーからウプサラまでは、ストックホル
ムで電車を乗り換えなといけないので、5
〜6時間はかかるのです。遠いので、1泊家
に泊めてくれるということでした。「そした
ら、彼女との生活がよくわかるから」と言っ
てくれたのです。

1歩家の中に入ると、立派な福祉用具がた
くさんありました。階段は昇降機がついてい
て、福祉用具を有効的に活用すれば、介助を
していても楽だと言います。驚いている私に、
「全部、無料だよ。コミュニティ（市町村）から
支払われるんだ」とお父さんが説明してくれ
ました。浴室には、シャワーの台があつて、そ
こに寝かせながらシャワーを浴びせることが
できたり、リフトがあるので、移動をさせる
のにも介助をする側の負担が全然違うのです。
まさに、福祉用具が生活の一部となっている、
福祉社というのは、生活の一部であるというこ
とが実感できるのです。

普段は働いて
いるお母さん、
そしてこの日は、

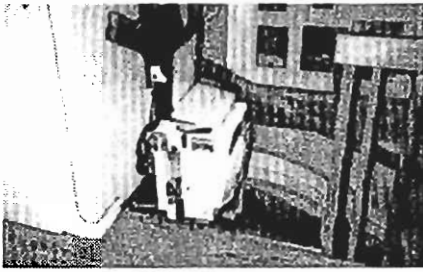
その女の子のお
姉さんの子ども
まで来ていて、
賑やかでした。
温かな家族に囲



福祉用具

まわりの食事、団欒。それは突然訪問した私
でさえも包み込んでくれるとても幸せな時間
でした。普段の生活を私に見せてくれ、そし
て、コンタクトを取ったらしい家族やこれか
らの勉強に役立ちそうなことを教えてくれた
のでした。

女の子は、養護学校に通っていましたが、
そのカリキュラムは彼女の意思で決めれる
そうです。音楽が好きな彼女は、主要科目が
音楽。サポートは必要ですが、乗馬もします。
自然の中を乗馬できることは、狭い日本では
なかなか経験できないことですが、スウェー
デンでは、乗馬は誰もが気軽にできるスポー
ツの1つです。スウェーデン人であれば、小
さな子どもときから楽しめるスポーツで
す。



昇降機



シャワー用のリフト
(見にくいかもしれませんが)



ボートに乗って家族と夏を楽しむ女の子

自分ひとりでは何もできなくても、少しのサポートがあれば十分生活を楽しむことができる・・・それを彼女から教わりました。本当に豊かな生活とは一体どういうことでしょうか？ 経済的には日本の方が豊かかもしれません。今は不況の嵐の大陸ヨーロッパの影響をもうに受けているスウェーデン。決して楽観的な状況ではないのですが。でもスウェーデンの生活を垣間見るとき、日本のシステムに疑問を感じずにはいられないのです。税金をどのように使うのか、使い途をもっと国民の生活を第一に考えてほしいのですが。「税金が高くて、また返ってくるからね。

だからもつと税金が高くてもいいと思ってる」
と、家族みんなが言う言葉・・・障害があってもなくても、すべての国民にちゃんと生活が保障されている、だから安心して自分たちの生活を楽しむことができるのだとスウェーデンの人達を見ていて思います。
スウェーデンでは、「家族」といっても、日本みたいに扶養義務はありません。子どもは18歳になれば、たいてい独立しますし、障害があっても同じです。「彼女も18歳になったら独立するよ。ここを離れてグループホームで生活することになるかな」とお父さん。
でも家族の結びつきが弱いわけではなくて、

子どもを一個人としてみていて、個人と個人のつながりになるのです。週末や長期の休みには、実家に帰ったり、家族旅行をしたり・・・みんながそうしています。

今年17歳になった女の子。今は高校生です。介助もパーソナル・アシスタンスと呼ばれるスタッフが行うようになりました。毎年、クリスマスには挨拶メールを交換していますが、12月には、素敵な大人の女性になった写真が届きました。すっかり自立した大人の女性の雰囲気が出ていました。頑張り屋さんの彼女のことを思い出し、懐かしくなりました。

人との出会いは、奇跡的でもあって、でもどこか必然的でもあるような気がします。ただ再会は果たしていませんが、いつかまた会えるような、そんな気がしています。

いつも人に支えられていた留学生活。好きな友達、大好きな先生。彼らのおかげです。必ず、お礼を伝えるに行こうと思います。私にとってはスウェーデンとの心の距離は近いですが、物理的な距離はやはり遠い・・・それでもまた大好きな人たちに会えることを願って、今、旅の計画を立てています。

(清原 舞)

美智子のこんな話

岸田美智子

入院は14日しかできないの!?

―大阪市重度障害者等入院時等コミュニケーション・ケーションサポート事業について―

これまで重度障害者が入院すると、ヘルパー制度が使えなくなり、入院も安心してできない状況でした。重度障害者は言語障害だけでなく、普段から介助に入っているヘルパー以外では難しい状況があります。その上、トイレや食事介助、着替え、寝返りなどの体位変換などのすべての場面で慣れていないと、急に接した人には難しいという問題があります。

さらに、入院時は身体のどこかが調子が悪

いわけですから、平常よりも言語障害が強くなったり、緊張がきつくなったりするので余計に慣れたヘルパーでないと、介助はなりたないという声がでていました。

この問題を大阪市に訴えてきましたが、やつと昨年の10月より「大阪市重度障害者等入院時等コミュニケーションサポート事業」が開始されました。しかし、その対象者の範囲は非常に狭く意思の伝達がまったくできない方で、こちらからの指示への対応もできない方、となつていきます。なので、とても対象者が少ないと思われまます。その上、制度利用期間が14日までになつていて、それを超えて入院の場合はどうなるのか、非常に疑問の多い制度のスタートになつていきます。

今後ももつともつと使いやすくしていくために声を上げていかなければなりません。

○対象者

以下の要件をすべて満たしている意思疎通が困難な身体・知的・精神障害者（児）

①障害程度区分6

②現に、居宅介護、重度訪問介護、重度障害者等包括支援のいずれかを利用している者

③大阪市在住の単身生活者またはこれに準じる世帯の者

④下記のすべての障害程度認定調査項目（※）が「できる」以外と認定されている者

（※）・・・コミュニケーションに関する項目

6-3 ア・意思の伝達

6-3 イ・本人独自の表現方法を用いた意思表示

6-4 ア・指示への反応

6-4 イ・言葉以外のコミュニケーション

を用いた説明の理解

○サービス内容

入院時における病院スタッフとの意思疎通の円滑化を図るための支援とする。ただし、診療報酬の範疇となるサービスは対象としない。

○報酬単価

①1日当たり4時間を越える支援を行った場合・・・1日当たり7000円

②1日当たり4時間以下の支援を行った場合・・・1日当たり1500円×対応時間

○申請方法などについては、お住まいの区の保健福祉センターまで。



3 月 は ど こ の サロ ン の、
ど の テー マ が
お 気 に 入 り で す か。
い い 出 会 い し ま せ ん か。

会 費： な し
問 い 合 わ せ 先： 宮 脇 淳
☎ 090-3949-6973

■ 「サロ ン 淀 川」 3 月 の 出 会 い

日 時： 3 月 15 日 (日) 午 後 1 時 30 分 ~ 4 時
内 容： ミュ ー ジ ッ ク ケ ア で 感 動 と や さ し さ を 演
出 す る - 身 近 な 楽 器 で 音 作 り を し て 楽 し
み ま し ょ う -

ゲ ス ト： 竹 内 千 恵 美 さ ん

場 所： 「淀 川 区 社 会 福 祉 協 議 会 ・ や す ら ぎ」
大 阪 市 淀 川 区 三 国 本 町 2 - 1 4 - 3

会 費： な し

問 い 合 わ せ 先： 淀 川 区 社 協 (ボ ラ ン テ ィ ア ・ ビ ュ ー
ロ ー) 〒 532-0005 淀 川 区 三 国 本 町
2-14-3 ☎ 06-6394-2900
E-mail： sorajii@iris.conet.ne.jp

■ 「サロ ン ・ に し」 3 月 の 出 会 い

日 時： 3 月 14 日 (土) 午 後 2 時 ~ 4 時

内 容： 手 話 を 楽 し く 学 ぶ ough!

場 所： 西 区 在 宅 サ ー ビ ス セ ン タ ー - 「に し な が ほ り」
大 阪 市 西 区 新 町 4 - 5 - 1 4

■ 「サロ ン ・ に し よ ど」 3 月 の 出 会 い

日 時： 3 月 28 日 (土) 午 後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分
内 容： 図 書 館 か ら 見 た 西 淀 川

- 西 淀 川 区 図 書 館 今 昔、 地 域 と の つ な が り -

ゲ ス ト： 赤 利 令 氏 (西 淀 川 区 図 書 館 ・ 館 長)

場 所： 西 淀 川 区 図 書 館 ・ 多 目 的 室

会 費： な し

問 い 合 わ せ 先： 中 本 ☎ 090-9864-9678

■ 「ウ ィ ズ 東 淀 川」 3 月 の 出 会 い

日 時： 3 月 8 日 (日) 午 後 1 時 30 分 ~ 4 時

内 容： 「生 き る」 を み つ め た 時 に

パ ネ ラ ー： 亀 谷 和 生 氏 (車 い す 使 用 者)

場 所： NPO 法 人 自 由 空 間 ク ラ ブ
大 阪 市 東 淀 川 区 淡 路 5 丁 目

会 費： な し

問 い 合 わ せ 先： 鈴 木 昭 二

☎ 06-6340-3082

FAX 06-6340-3012

■ 「サロ ン いた み」 3 月 の 出 会 い は お 休 み で す。

私 ら し さ 伝 わ る
サロ ン の 一 筆 箋

普 段 は メ ー ル や 携 帯 電 話
で コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を
取 る 人 も、 こ こ は ひ と つ
手 間 を か け よ う、 と い う
と き が あ る。
そ ん な と き、
そ の 人 ら し さ の 伝 わ る、
サロ ン の 一 筆 箋。

サロ ン の 一 筆 箋

一 冊 一 〇 〇 枚 綴 一 五 〇 円

絵がうたうー 絵とうたうー

童謡♪絵はがき

- ♪春
 - ・ 仰げば尊し
 - ・ 春よ来い
 - ・ 早春賦
 - ・ 春が来た
 - ・ どこかで春が
- ♪夏
 - ・ 花火
 - ・ 蛙の笛
 - ・ 金魚の昼寝
 - ・ たなばたさま
 - ・ 夏は来ぬ
- ♪秋
 - ・ 殖生の宿
 - ・ あの町この町
 - ・ 村祭
 - ・ 紅葉
 - ・ 里の秋
- ♪冬
 - ・ スキー
 - ・ 冬の星座
 - ・ 冬景色
 - ・ たきび
 - ・ 冬の夜
- ♪冬II
 - ・ ペチカ
 - ・ 雪
 - ・ 灯台守
 - ・ ちんちん千鳥
 - ・ かあさんの歌
- ♪お正月
 - ・ あまがさからかさ
 - ・ てるてる坊主
 - ・ 雨降りお月さん
 - ・ 雨
 - ・ あめふり
- ♪お正月(いちがついちじつ)
 - ・ 1月1日(いちがついちじつ)
 - ・ お正月
 - ・ ひとめふため
 - ・ 正月のうた
 - ・ 凧あがれ
- ♪汽車
 - ・ 汽車ポッポ
 - ・ 汽車ぼつぼ
 - ・ かもつれっしや
 - ・ 鉄道唱歌
 - ・ 汽車
- ♪花
 - ・ めだかの学校
 - ・ 花
 - ・ ローレライ
 - ・ 船頭さん
 - ・ 春の小川
- ♪花II
 - ・ 野菊
 - ・ 野なかの薔薇
 - ・ ひらいたひらいた
 - ・ 夏の思い出
 - ・ 酸模(すかんぼ)の咲く頃
- ♪花I
 - ・ チューリップ
 - ・ 庭の千草
 - ・ からたちの花
 - ・ この道
 - ・ さくら さくら
- ♪子とも
 - ・ 青い目の人形
 - ・ モーツァルトの子守歌
 - ・ 1年生になつたら
 - ・ おべんとう
 - ・ 仲よし小道
- ♪お正月
 - ・ 1月1日(いちがついちじつ)
 - ・ お正月
 - ・ ひとめふため
 - ・ 正月のうた
 - ・ 凧あがれ
- ♪海
 - ・ 海
 - ・ 椰子の実
 - ・ われは海の子
 - ・ 浜辺の歌
 - ・ うみ
- ♪魚さん
 - ・ 母さんたずねて
 - ・ 肩たたき
 - ・ ないしょ話
 - ・ やさしいおかあさま
 - ・ ママのおひざ
- ♪5月
 - ・ 背くらべ
 - ・ 5月の歌
 - ・ 茶摘み
 - ・ コイノボリ
 - ・ 鯉のぼり

サロン20周年記念

童謡♪絵はがき

■5枚1組 ¥180

寄りみち



■童謡♪絵はがき・春が来た。春は温暖、花の季節で、1年の中で最も明るい季節です。春が来た、花が咲く、鳥が鳴く、というシンプルな歌詞の繰り返しによって、春ののどかな雰囲気がいっぱいになり、長く待ち望んだ春の到来への喜びが素直に表現され、音楽の素晴らしさを感じる唱歌で、明治の終わりから長く歌われてきています。しかし、評価は分かれます。金田一晴彦が唱歌のベストテンのひとつに入れるべき作品、と高く評価するかと思えば、上笙一郎のように、春が来た、は抽象的で映像を欠き、花が咲く、鳥が鳴く、も具象的でなく、リフレインも新鮮さも欠いて凡庸という人もいます。(石)

<サロン・あべの>VOL.272 発行:平成21(2009)年2月21日 定価¥100
 編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美禰子
 事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 ホームページ: <http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます